

【科目名】 日本語表現法		【担当教員】 上松 恵理子 (メールアドレス) eriko.uematsu@u.musa.ac.jp (オフィスアワー) 授業開講日、非常勤講師室で対応
【授業区分】 教養分野 (人文科学)	【授業コード】 1-01-0030-0-2	
【開講時期】 1・2 年次 前期	【選択必修】 選択	
【単位数】 1 単位	【コマ数】 8 コマ	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 正しい日本語を話したい、書きたいと思っている人なら誰でも習得可能 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし		
【講義概要】 (目的) レポートや報告書、論文等を書く際に必要な、基本的な日本語に関する文法や表現法を学ぶ。文脈の整合性や、正しい敬語の使い方、口語体や文語体の違い、正しい助詞や助動詞の使い方、正しい単語や漢字の使い方等を学習する。 (方法) 基本的な日本語のルールや使い方を学習し、単文やレポート、学術論文等を題材にして、より正しい日本語を学習する。		
【一般教育目標 (GIO)】 ・日本語の表現を理解する。 ・レポートの書き方を学習する。 【行動目標 (SBO)】 ・日本語の使い方を理解することができる。 ・目的に応じた文章を書くことができる。		
【教科書・リザーブドブック】 三省堂『大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編』 橋本修/阿部朋世/福嶋健伸 1900 円＋税 (2011 年 第 5 刷) 注 「スキルアップ編」を使いますので間違えないで購入すること		
【参考書】 講義内で適宜資料を配布		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う、		

平成 26-28 年度以降入学者用

出席、授業態度、レポート、試験を総合的に判断、評価する。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		80		20					100 点
評価指標	取り込む力・知識	30		20					50
	思考・推論・創造の力	40							40
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢	10							10
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法		学修課題(予習・復習)		時間(分)			
1	大学の授業におけるレポートの基本	講義と実践		講義内で適宜指示		40			
2	敬語の基礎と使い方 メモとノートテイク	講義と実践		講義内で適宜指示 授業外の学習も適宜指示		40			
3	メールと手紙の書き方 説明	講義と実践		講義内で適宜指示		40			
4	資料の読み取りと調べ方 アンケートの取り方	講義と実践		講義内で適宜指示 授業外の学習も適宜指示		40			
5	レポートの書き方 1 研究計画の立て方	講義と実践		講義内で適宜指示		40			
6	レポートの書き方 2	講義と実践		講義内で適宜指示 授業外の学習も適宜指示		40			
7	小論文の書き方	講義と実践		講義内で適宜指示		40			
8	説明表現とコツ レポートの書き方 3	講義と実践		講義内で適宜指示		40			

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。